

万田市移譲の件、誠首絶對反對の件以上三議案が佐伯健に依り一掃説明、可決、猶残る二十五議案の審議を控へて時刻は切迫した。茲に田中房雄の緊急動議を以て九時役員選挙に入り、残余議案に就ては役員決走後一括上提可決せられた。

改選に依り新本部役員  
執行委員

電車部  
(六名)

- 争議部長 内海寅吉 (早稻田)
- 財務部長 野平末松 (三輪)
- 全副部長 志倉朝次郎 (新首)
- 出版部長 鈴木一 (錦糸橋)
- 救護部長 星名久司 (三四)
- 一名保留としたる十二月六日

自動車部  
(三名)

- 政治部長 森 幸二 (大塚) 選出せらる。
- 財務副部長 山田義春 (新谷車庫)
- 執行委員長 植村貞雄 (新谷町)
- 調査部長 熊本利男

工場部  
車庫部

- 峯岸新三郎

軌工部  
電気部  
電力部  
婦人部  
会計

- 財務副部長 河野平次 (大内)
- 教育部長 佐伯健 (赤坂)
- 組織部長 山添豊吉 (数寄屋橋)
- 婦人部長 荒川夕々 (新谷)
- 萩原佳宣 (電車柳島)
- 三宅藤吉 (南千住軌工)

(但し婦人部長は九年一月荒川辞任に依り井上貞之に代る)  
續いて行はれた執行委員長選出に際して、自動車部大金清から、東交の主勢力である電車部から執行委員長として野平末松推薦の希望と表示したに對し、村越喜一(早稲田)、松山久一、稻見千里(兩名三輪)の反對意見出で代議員の決戦投票の結果

熊本利男 (一七六票)  
野平末松 (一〇〇票)

を以て工場技士熊本利男は光榮ある東交執行委員長の席に就いた。新本部役員の種類を見れば、北東務部及電車部選出者に就いては大体首肯出来る。唯自動車部に於ける新谷營業所から運輸手植村、車庫技士山田の二名が擧げられたことは、多士濟々の當部内術策の裏面が看取せられる。